

三小だより

体力向上の取組

基礎体力の向上のために、学校では体力テストに取り組んでいます。体力テストは自分の体力レベルを知り、向上に役立てるものです。1・2年生は2種目、3年生以上の学年は8種目実施しています。

- | | | |
|---|-----------|-------------------------------------|
| 1 | 握力 | 【筋力：筋肉が力を出す能力】 |
| 2 | 上体起こし | 【筋力・筋持久力：筋肉が力を出したり、筋肉が力を出し続けたりする能力】 |
| 3 | 長座体前屈 | 【柔軟性：体を曲げたり伸ばしたりする能力】 |
| 4 | 反復横跳び | 【敏捷性：体をすばやく動かす能力】 |
| 5 | 20mシャトルラン | 【全身持久力：全身で運動を続ける能力】 |
| 6 | 50m走 | 【走力：走る能力】 |
| 7 | 立ち幅跳び | 【跳躍力：とぶ能力】 |
| 8 | ソフトボール投げ | 【投力：投げる能力】 |

※1・2年生は6と8を実施しています。

体力テストって
何を見るの？

令和5年度 体力テストの結果

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
1年男子						△		△
2年男子						△		△
3年男子	○	○	○	◎	◎	△	○	○
4年男子	△	○	△	△	○	○	○	○
5年男子	△	○	◎	○	○	○	○	○
6年男子	○	◎	△	○	○	○	△	○
1年女子						△		◎
2年女子						△		○
3年女子	○	△	○	○	△	△	○	○
4年女子	○	○	○	○	○	○	○	○
5年女子	△	○	◎	○	◎	○	○	○
6年女子	○	○	○	○	△	△	△	○

新潟県平均値(令和4年度)よりも 上回る(◎) ほぼ同じ(○) 下回る(△)

今年度の体力テストでは、県平均よりも「上回る」または「ほぼ同じ」項目が、昨年度よりも多くなりました(R4 49 項目⇒R5 52 項目)。

昨年度半数の学年で△だった「反復横跳び」「立ち幅跳び」での改善が見られます。これは、グラウンドでおにごっこやサッカー、ドッジボールができる環境を整え、遊びを通じて敏捷性や瞬発力がつくように工夫した成果であると考えます。

これからも、学校と児童・保護者で連携を深めながら、子どもたちの体力がさらに向上するように努めていきます。

R5年度 全国学力・学習状況調査報告

今年5月に6年生が取り組んだ全国学力・学力調査の結果は、右の表のようになりました。本校の正答率は、全国の正答率を国語・算数の2教科において、新潟市、新潟県、全国の平均正答率を上回る良い結果となりました。

	三小	新潟県	新潟市	全国
国語	70	67	68.0	67.2
算数	68	62	62.8	62.5
合計	138	129	130.8	129.7

○表内の数値は、正答率。

これは、6年生が日々の授業に集中して取り組み、宿題や自主学習などの課題に熱心に取り組んだ結果と言えます。しかし、いくつかの問題では正答率が低いものもあり、課題もありました。国語、算数科の正答率が特に高かった問題と低かった問題を以下に紹介しますので、今後の学習に生かしてください。

【国語】

○正答率が高かった問題

国語で全国の正答率と比べ特に高かった問題は、相手との会話の中で必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができるかどうかを見る問題でした。聞き手の質問が、相手の話の内容をより具体的に知るためのものであることをしっかりと理解していました。意図に合った質問の仕方を国語でしっかりと学び、学習したことを日々の生活に生かしていると言えます。

△正答率が低かった問題

逆に正答率が低かった問題は、習った漢字を正しく使って文を書き直すという問題でした。新しい漢字を学習した後、そのまま終わりにしてしまうのではなく、積極的に生活の中で使うなどして定着を図ることが大切です。

【算数】

○正答率が高かった問題

算数の問題で正答率が高かった問題は、二次元表から必要な情報を正しく読み取る問題でした。表のどの部分に着目すれば自分に必要な情報を調べることができるのかということがよく理解できていました。

		30分以上の運動をした日数		合計
		2日以下	3日以上	
運動	好き	85	26	111
	あまり好きではない	10	2	12
合計		95	28	123

△正答率が低かった問題

正答率が低かった問題は、正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題でした。紙を重ねて切るとき、角の大きさを何度にして切れば正三角形ができるかが問われました。児童の多くは「正三角形の角の大きさは全て 60° である」という図形の性質をしっかりと理解しています。しかし、紙を重ねて切るため、角の大きさを 60° にするのではなく、その半分の 30° にしなければいけません。

「正三角形の角は全て 60° 」という知識を得た後、目的の図形をつくるために見通しを立て、実際に取り組んでみるという経験を多く積むことが大切だと考えます。

